

令和 6 年度 学校評価書 ( 計画段階 )

福岡県立

三瀬

高等学校

<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>世界で輝くアスリート、地元で輝く人材を育てる学校 世界的なトップアスリートをはじめ、スポーツに関する充実した学びを広く生かして活躍する人材を育成するとともに、進学や公務員・民間就職等の多様な進路に対応した地域密着型の教育活動を展開し、地域振興を支える人材を育成します。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎、基本の徹底から応用に至る様々な学力の習得。</li> <li>論理的思考力や課題解決力の育成。</li> <li>自分のイメージや考えを言語化し、表現する・伝える力の育成。</li> <li>スポーツを科学的に捉え再現性を高められる能力の育成。</li> <li>各部活動に於いて専門的な高い知識と技術力を持った生徒の育成。</li> </ul>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「将来の道」を見つけ、希望進路の実現を可能にする、年次に応じたクラス選択制。</li> <li>私立大学や医療系学校、及び公務員や就職試験に対応したカリキュラムの編成。</li> <li>地元自治体や地元企業の取り組みへの参画やインターンシップの実施を通じた、「協働」と「経験」重視の人材育成。</li> <li>「教養科目」、「専攻スポーツ実技」、「スポーツ科学トレーニング」、「スポーツ文化講座」等の多様な学習の場を提供。</li> </ul>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学、就職など幅広い進路を検討し、その実現を目指して継続した努力ができる人。</li> <li>将来、社会の一員として地域で活躍したいという強い意志と熱意を持つ人。</li> <li>スポーツを愛し、将来スポーツの普及、発展に貢献しようとする意欲を持った人。</li> </ul>

学校運営計画(4月)

学校運営方針	年度重点目標		評価(総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p><b>【成果】</b> 記念式典を始めとする創立百周年記念行事の成功は生徒にとって自信をつける貴重な機会となった。コロナ禍の工夫を生かした学校行事の実施や、地域活性化に向けて城島総合支所と協働する「MJCプロジェクト」の本格始動は、生徒が主体的・探究的に課題に取り組む場を創出する上で意義あるものとなった。コースの専門性を生かした連携活動、継続的な中学校訪問やHP、SNS等を通じたスピード感ある広報活動を行うことができた。</p> <p><b>【課題】</b> 創立101年目となる本年度、より一層魅力ある学校づくりに取り組んでいく。そのため、より大胆な発想で個々の生徒に応じた教育を効果的に提供し、生徒自身が考え、意見を発信する場を創出するための学校づくりを行う。そのことにより本校の課題である生徒募集に繋げる。</p>	1 学習意欲向上による学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態把握に努め、能力に応じた教育を効果的に提供する。</li> <li>AL・ICT教育を推進することにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。</li> <li>観点別評価を取り入れた透明性のある評価規準を確立し、学習意欲の向上を図る。</li> </ul>	
	2 自律・主体性の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら考え、判断し行動して目標達成や課題解決をすることができる力を身に付ける。</li> </ul>	
	3 表現力・伝える力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な場で成果発表を多く経験することで、プレゼンテーションやフィードバックの力を養う。</li> </ul>	
	4 進路実現に向けたキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間を見通した教育活動を実施するためロードマップを活用し、計画的にキャリア教育を推進する。</li> <li>各分掌・学年が連携することにより、第一希望の進路実現に努める。</li> </ul>	
	5 社会の一員としての自覚を持つ、心豊かな人間の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「時間の厳守」「さわやかな挨拶」「心を込めた清掃」を徹底することにより、規範意識・自尊感情を醸成する。</li> <li>自分で考え行動する力を付けることで、当たり前のことが当たり前に行える生徒の育成を図る。</li> <li>常に率先垂範に努め、生徒の自主性が育まれるような生徒指導を目指す。</li> </ul>	
	6 地域に開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP、X(旧Twitter)、Instagram等の広報活動を充実させるとともに、地域と協働し、魅力ある学校づくりに努める。</li> <li>定期中学校訪問等、戦略的広報活動に取り組み、学校全体で生徒募集に努め、地域との交流を活性化させる。</li> <li>地域行事等にボランティアとして参加するとともに、地域参加型の学校行事を企画し、地域に開かれた学校づくりに努める。</li> </ul>	
	7 「スポーツの三瀬」の充実・発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>「する・観る・支える・知る・極める」ことを自分で考え、行動する生徒を育成する。</li> <li>スポーツ文化コースの特色を活かし部活動の競技力向上及び、学校全体の活性化と充実振興に努める。</li> <li>健康教育と安全教育を推進する。</li> </ul>	
	8 自他の人間性を認めることによるいじめの撲滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>心を育む道徳教育の充実を図り、人としての使命感、責任感を持った生徒を育成する。</li> <li>SC、SSW、PTA等と情報の共有化を図り、いじめや不登校の防止に努める。</li> </ul>	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
特色ある学校づくり	地域に根ざした発信力ある学校づくりの推進	<p>地域行事等に参加し、地域社会に貢献するとともに、魅力ある地域を作るための提案や、魅力の発信の仕方などについて、高校生ならではの視点が発揮できる協力的な学習活動の場を積極的に作っていく。また、地域に根ざす学校の在り方を模索するとともに情報発信の強化に努める。</p> <p>3年間を見通した教育活動(ロードマップ)を推進し、大学や地元企業との連携をとったカリキュラムの工夫をおして、地域社会に貢献する人材育成を目指す。</p>	学校満足度調査及び実績	
	「スポーツの三瀬」を中心とした魅力ある学校づくりと活性化の推進	<p>スポーツ教室等、地域との交流を深めることをとおして、スポーツを「する・観る・支える・知る・極める」生徒の育成を図り、「スポーツの三瀬」の充実・発展を推進する。</p> <p>共生社会を視野に入れた実習等魅力あるカリキュラムの工夫と実践をおして、生徒の学力向上と進路実現を図る。</p>	学校満足度調査及び実績	
	教務	生徒の力を伸ばすカリキュラムの見直し	<p>コースの目標を明確にし、大学・医療系学科や公務員・就職試験に対応できるようカリキュラム開発を行う。</p> <p>授業アンケートを年間2回実施し、授業改善に努める。</p>	学校満足度調査及び授業アンケート
学習指導	自分のイメージや考えを言語化し、表現する・伝える力を育成できる授業改善	<p>各教科の年間指導計画に、ICT活用を含め、自分のイメージや考えを言語化し表現し伝える活動を含める。</p> <p>観点別評価の基準を明確にし、授業における生徒の活動を活性化する。</p>	学校満足度調査及び授業アンケート	
	検定等の合格率向上のための支援	<p>学年と連携し、検定等の実施を毎学期行う。</p> <p>資格取得率の向上を目指し、生徒に対する支援強化期間を設定する。(資格取得率90%以上)</p>	学校満足度調査及び実績	
式典・諸行事	式典・諸行事の円滑な運営	式典や諸行事において、生徒が主体的に行動することができるよう企画運営する。	実績等	
PTA活動 同窓会活動 後援会活動	PTA活動の活性化	<p>魅力あるPTA活動内容を計画し、より多くの参加者を募る。また、活性化を図り、本校の魅力を保護者からも広めてもらう関係作りを目指す。</p> <p>広報課と連携し、PTA新聞が本校のPTA活動や教育活動を反映したものとなるよう努める。</p>	実績等	
	同窓会・後援会との連携	同窓会および後援会との連携を深め、支援をいただけるよう環境を作る。	実績等	
広報	学校案内パンフレットの内容の充実	<p>紹介内容の精査を行い、各コースの特色がより伝わる内容にする。</p> <p>写真を含めたレイアウトの工夫を行い、多くの人に配布を行う。</p>	入学時アンケート及び実績(配布数等)	
	広報活動の活性化	<p>HP・SNSでの更新を月4回以上行い、学校情報の発信を行う。</p> <p>学校行事等の様子を動画にまとめ、生徒の実際の様子をHP・SNS等に随時配信する。</p> <p>広報誌の発行の回数を増やし、紙媒体での学校情報を提供する。</p> <p>日程等を示した学校ポスターを作成し、中学校などに掲示してもらう。</p> <p>生徒募集に役立つ、よりインパクトある作品・アイテムを作成する。</p> <p>より多くの人に見てもらえるようにHPやSNSなどの閲覧数など多面的に分析し、傾向を把握し、活用の改善を適宜行う。</p> <p>学校案内パンフレット・HP・SNS・広報誌の媒体同士を連動させ、各媒体の特徴を活かした情報配信を行う。</p>	入学時アンケート・学校満足度調査及び実績(HP・SNS等の発信数・閲覧数等)	
生徒募集活動の強化、中学校との信頼関係の構築	中学校訪問回数増やし、情報交換を重ね、さらなる信頼関係を構築し生徒募集に繋げていく。	<p>ポスター配布等、目的を明確にした効果的な訪問とする。</p> <p>本校主催の行事への参加数が増えるよう工夫した広報活動を行う。</p>	入学時アンケート	
	本校生徒の魅力の発信	<p>進路相談事業や中学生体験入学で本校生徒の活躍の場と中学生とのふれあいの場を設けるなど、学校の魅力が伝わるよう工夫を行う。</p>	参加者アンケート	

様式3

生徒指導	学校行事や生徒会活動の支援	学校行事を通して、生徒会執行部を中心に各種委員会と連携を図る。 生徒会と代議員、委員会と部活動生徒等を繋ぐ機会を設け、全校生徒で「1人1役」を考え取り組むことを目指す。	生徒アンケート及び行事実績
	生徒の活躍の場の充実	外部指導者の活用や外部施設等の利用等により、環境整備を行う。 部活動数や予算の整理等を行い、安全面への対応を組織的に検討していく。 安心・安全な活動が行えるよう施設設備の点検を定期的に行う。	実績等
健康管理 安全管理	生徒保健委員会の充実と活性化	生徒の健康面や安全面に対する関心や意識を高めるため、「保健だより」の内容について創意工夫を図る。 「保健だより」の発行に向けて、保健委員が主体的に活動できるよう促す。	実績等
	安全点検の実施	各学期ごとに安全点検を実施する。	実績等
教育相談	課題を抱える生徒への、柔軟できめ細かい対応	課題を抱える生徒の情報を教職員間で共有し、SCの活用で早期対応に努める。生徒の配慮すべき事情について、養護教諭と連携し、関係職員と情報交換を行う。	実績等
	特別支援教育の充実	支援が必要な生徒を把握し、個別の支援計画・指導計画の作成と教育相談を実施する。 研修等を通じて、多様な生徒に対応する力を高める。	実績等
環境美化	生徒美化委員会の充実と活性化	学校行事に合わせ、全校生徒で校内美化に努めるための計画を提示する。 美化強化週間の実施を通して、清掃への生徒の意欲を高める。	実績等 実績等
	進路指導	生徒に高い志を持たせるキャリアアプランニング力の育成	探究活動と進路ガイダンスを通して生徒のキャリアプランニングの基礎を構築する。 Classiを活用し、各学年・分掌と連携して生徒が自ら学ぶ姿勢を伸ばす。 模擬試験等を踏まえ、学習到達度に応じた学習指導を行う。
キャリア教育の推進	外部支援活用による希望進路実現に向けた取組の充実	就職希望者向けの外部講師によるガイダンスや講座を通して、進路実現に向けた主体性を育む。	実績(スタディーサポート・実力診断テスト・総合学力テスト等)
	探究活動の深化	総合的な探究の時間における探究活動の充実	3年間を通したMJCプロジェクトの実施計画を、前年度を踏まえて改善しながら確立を図る。 地域との連携を密にし、主体的で実践的な探究活動にする。
研修	教師の資質向上を図る研修の推進	本校の課題を踏まえた研修を計画・実施する。また、研究授業や授業参観週間を活用して教科指導力の向上を図る。	職員へのアンケート及び実績
	職員・生徒の資質向上のための研鑽	生徒の実態や課題、社会情勢に応じた教材を用い、人権・同和教育授業の指導案を作成し、効果的な授業を実施する。	生徒アンケート及び実績
コース	一般教養コースの特色化	地域貢献活動や他との交流を通して社会性を育成するために、積極的なボランティア参加を促す。 各教科の授業においてICT機器を活用した学習を実施する。 進路部や各教科と連携して、生徒のGTZを向上させる。	生徒アンケート及び実績
	コース特性の強化	スポーツ文化コースの充実	小学校との連携事業を実施する。(城島・三瀬・犬塚小学校) スポーツの分野(する・みる・支える・極める)で地域で活躍する人材を育成する。スポーツ教室の回数を三回に増やし中学校との連携を図り、生徒募集に繋げる。
事務部	教育環境の整備充実	教科指導書や教材等を計画的に購入する。(教務部と連携) 施設の不具合箇所は優先順位を付し計画的に補修・改修を行う。 生徒の教育活動や学校の広報等が円滑に進むようICT機器等の保守管理を行う。	実績等
	生徒・職員の安全 安心の確保	定期的に学校施設の安全点検を実施し、事故等の未然防止に努める。(保健環境課と連携) 保健衛生用品等の計画的な購入・整備に努める。(保健環境課と連携) 職員への諸連絡は今後も学校ポータルサイトを活用し周知もれを防ぐ。	実績等
円滑な事務処理の推進	業務改善による円滑な事務処理と教育活動への支援	旅費計算支援ソフトを活用し旅費事務を効率的に行う。 各業務担当の主任・副主任による相互チェック体制を強化し、円滑な事務処理を目指す。	実績等